

# 3Dプリンターで試作のものづくりを極める

皆さんは東海地区で1位2位を争う早さで「3Dプリンター」を導入した会社が岩倉市にあることを知っていますか。

## 高質・短納期・低コストを実現

3Dプリンターを用いた試作品製作を行っています。自動車関連企業からの注文が全体の7〜8割を占め、主にプラスチック部品の開発・試作支援をしています。大量生産をする前の開発段階で試作品を作ることは、自動車の安全性を担保するためにとっても重要です。

開発のものづくりをする上で高品質・短納期・低コストの3点をとても大切にしています。3Dプリンターは樹脂・金属含め約30台あり、中には日本に数台しかない大型金属3Dプリンターも保有しています。

3Dプリンターはパソコンの3次元CADデータを入力して立体物を作ることができます。少量を短時間で作ることに適しており、お客様の「すぐに試作品が見たい」という要望に応えることができます。3Dプリンターの他にも切削加工を行うマシニングセンタという工作機械を有し、必要に応じて使い分けています。また、試作品がお客様から頂いた仕様書の通りにできていることを保証するために、CTスキャンや3Dスキャンなどを用いた測定も行っています。

## 技術の積み重ねが仕上がりに出る

元々は亜鉛合金の鋳造を行う会社でし



かぶしがいがいしゃ  
株式会社クリモト

〒482-0017 岩倉市北島町寺田 6  
TEL: 0587-66-8801  
<http://www.kmkogyo.co.jp>



## ■会社概要■

1988（昭和 63）年に KM 栗本工業として個人形態で事業を開始。1990（平成 2）年に有限会社を設立。1999（平成 11）年、試作金型事業と光造形事業を開始し、2003（平成 15）年に株式会社化しました。2011（平成 23）年に岩倉市に本社を移転し 2014（平成 26）年に社名を株式会社クリモトに変更。3Dプリンターによる試作品製作のリーディングカンパニーとして高い技術を誇っています。



たが、25年ほど前に3次元CADでの立体的なデザインが可能になった時代の変化に合わせて3Dプリンターを思い切って導入し、現在に至ります。単に機械を操作するだけではなく、その先の作り込みの技術は、やはり長い間試行錯誤しないと身につかないと自負しています。

最近では新たな分野の仕事も増えています。例えば、医療分野では背骨のインプラントや、皮膚の感触を再現した遠隔手術ロボット用の練習キットを作りました。航空宇宙業界でも金属造形や多品種少ロットの強みを活かして開発試作を行っています。

## 地域とつながるための取り組み

地域社会とのつながりも大切にしています。「いわくら市民ふれあまつり」に参加しており、ミニゲームの景品で3Dプリンターの造形品をお渡ししました。また、地元の子ども達を集めてサッカー大会を開催し、クリスマスカップも実施しています。

このような活動は、「クリモトをもっと身近に感じてほしい」という思いから行っています。3Dプリンターによる試作という仕事を地域の方々に少しでも知っていただくことを願っています。

「3Dプリンターでもマシニング機械加工でも、お客様の目線に立ってニーズに応えるっていつのほすごく大事なじゃないかなと思います」と栗本英年代表取締役は高校生の私たちに語ってくれました。（株）クリモトはニーズにしっかりと応えることで、ものづくりの世界で強みを生かし、たくさんの方に必要とされる存在であり続けているのだと思いました。